

SHIRAKOBATO

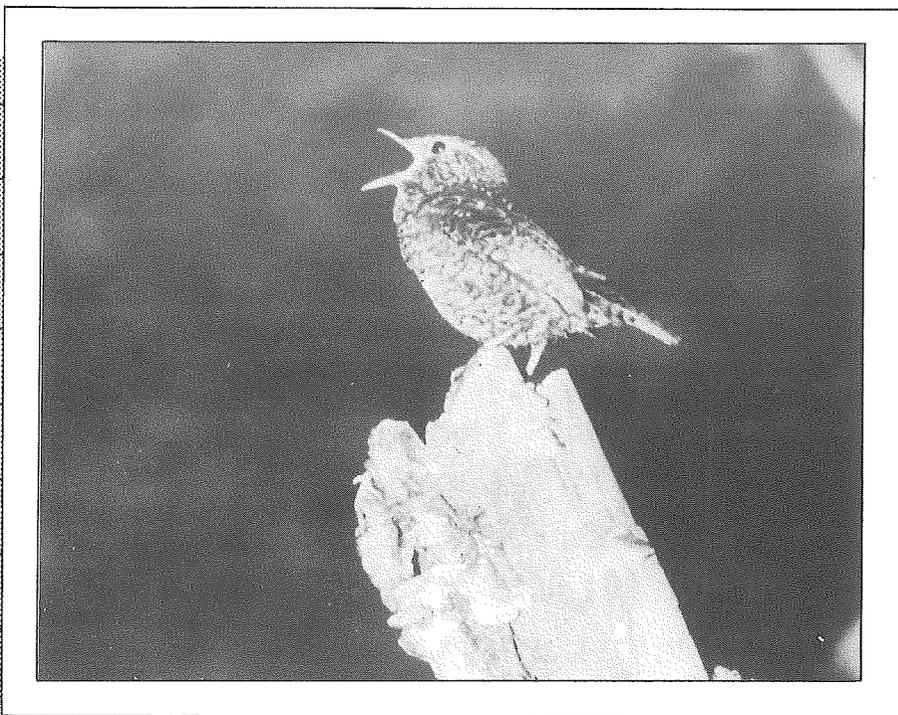
しらこぼと



1987. 5

SOCIETY OF JAPAN · SAITAMA

WILD BIRD



NO.36

日本野鳥の会 埼玉県支部

ミニサンクチュアリ入門(夏季編)

(財)日本野鳥の会普及部主任 藤本和典

(1) サンクチュアリとミニサンクチュアリ

人と自然とのふれ合いの場を作るという基本的な考え方はミニサンクチュアリもサンクチュアリも同じです。サンクチュアリ(Sanctuary)はラテン語から生じた英語で、教会への権限としての隠れ場所、あるいは法律の威力も及ばない=聖域という意味です。日本野鳥の会では、サンクチュア리를野鳥を中心にした野生生物達の楽園としており、ミニサ

ンクチュアリは身近かなふだん生活している場所で、野生生物を保護する場所をいいます。ミニだからといって小さなという意見ではないのです。ですからミニサンクチュアリ作りは、だれでも身近かな所で気軽に始められるのです。ベランダや庭先、校庭の一部や高層の建物、工場の緑化にも簡単に応用できるのです。



(2) ミニサンクチュアリの意義

都市や町中では、緑が少なく、そこに住む昆虫など小動物も、ますますへってきています。たとえば、小さな生物たちが利用するための水もなかなか見つかりません。鳥は毎日数回以上水浴びをし、飲水としても利用します。しかし、コンクリートで固められ、小川も汚れ暗渠となり、きれいな水はみつからなくなっているのです。都会のスズメは真黒で別の種類かと思うほどのものもあります。冬場は特に野鳥たちにとってはきびしい季節です。しかし夏場も同じなのです。都会では、夏鳥はツバメだけということがあたり前になっています。しかし、昔はといっても2~30年前には、大きな林やきれいな川がどこにでもあったのです。今は住宅地など人工物ばかりです。彼らにとっての巣作りの場所や子育てのための餌も少ないのです。たとえ見た目には緑があっても、公園や街路樹は、日本に住む生き

物が利用しない外国の植物ばかり、それも殺虫剤使用でますますいなくなっているのです。

総理府が行った、自然保護に関する世論調査によると、自然保護活動への参加のところで、「身近なところに木を植えたり、鳥の巣箱や給餌施設を作る」は13%の数字が出ています。多くが関心を持っていますし、ミニサンクチュアリ予備軍としてたくさんの方々がいらっしゃるのです。あなたのベランダや庭先がミニサンクチュアリになり、お隣りでも、そして、いつの日か近い将来、ミニサンクチュアリの一つ一つが、点が線になり面になっていって、野鳥がさえぎり、小さな生き物もたくさんいて、人間が住むためにもとてもすばらしい良い環境がもどってくるかもしれません。ミニサンクチュアリ作りをまだの方、ぜひあなたも始めてみませんか。



(3) 新しくミニサンクチュアリを作る

(a) 土づくり 土づくりの目的は、土壌動物や微生物がたくさん育つ環境を作ることです。良い土とはふかふかで黒くやや湿気がありいかにもおいしそうな土をいいます。枯れ草や枯れ葉を集めて、土の中に鋤き込みます。有機質に富むゴミなども、ミニサンクチュアリの面積を考えて、あまり多量でなけ

れば、においが出ないようにやや深めに鋤き込んでください。雨水もできれば庭にしみ込むための工夫をしてみてもいいでしょうか。たとえば溝を掘り、小砂利を埋めたり、湿地を人工的に作ったり、いろいろアイデアを考えてみてください。

(b) 樹木、草の用意 緑の用意は、野鳥だけでなく昆虫を始めとして多くの生き物が餌として、また巣作りの場に、ねぐらやかくれがとしても利用しています。そのためできるだけ多くの種類の植物を用意するのが大切です。アゲハチョウはサンショウなどのミカン科の植物しか利用しません。他種類の植物ではアゲハの幼虫は育たないし、親の蝶は卵を産んでくれません。緑はどこから手に入れたらよいのでしょうか、簡単で安く手に入れるには、知人や近所の方のお庭先をよく見て下さい。実のなる木、野鳥たちの大好きな木の実生＝幼木がたくさん見つかるでしょう。鳥のフンから出てきたのです。ネズミモチ、アオキ、ヤツデ、ヒサカキなどです。ぜひわけてもらってください。植え方は背景に常緑樹を、手前に落葉樹をと配置してください。ねぐらやかくれが用に、面積がゆるすかぎり常緑の大きな木を1本でも用意するとよ

(4) ミニサンクチュアリ作りのコツ

(a) ミニ・雑木林作り ミニサンクチュアリとは、ベランダや庭先を給餌場にするのではなく、まず環境作りですね、一歩進めて、雑木林にしてみたいかがでしょうか。ベランダなら、フラワーポットや発泡スチロールの魚箱を総動員、落葉樹を中心に植えただけでそのままにしておきます。枯れ枝や落葉も持ち出さず積み上げておきます。ヒキガエルやオサムシなどの小動物もすぐにもどってきます。春になるとスミレが咲き、居ながら季節感を味わうことができます。野草は種子が土にまじっていたり、風でとばされてきたりもしますが、野草の花が終わってから、種子だけもらってくるのは許されるでしょう。似たような環境に撒いてください。

(b) 水場の工夫 野鳥は、水面からの光の反射で水場を見つけるそうです。さらにモーターで環流させるなりして、流れを作ってみましょう、流れはもっと生き物を引きつけます。湿地や浅瀬、そして深みまで、それぞれに水生植物を水草を植えます。水の近くには意外と生き物が多く住むものなのです。

(c) 管理について ミニサンクチュアリ

いでしょう。芝生を植えるより、雑草が生えている方がコオロギやバッタが夏を過ごし、秋にはカワラヒワやアオジが落ちた実を拾いにきます。見苦しくない程度に残すことをおすすめします。

(c) 水場の用意 野鳥のためだけの水場であれば、鉢皿やお皿で充分です。1～2cmの水を入れ底に砂でも敷き込んでください。安全ならば、ベランダでもすぐにやってきます。水を利用する生き物はたくさんいます。小さなコンクリートの都会地の池でも、カイミジンコ、ヒメゲンゴロウ、アジアイトトンボ、アキアカネなどたくさん生き物がやってきて驚いたことがあります。飛んできたり、入れた水草に付いてきたのでしょうか。ビニールを敷いて、底に砂を入れ、水草でも植えてみてください。コンクリート製の深さを三段階ぐらいに分けた流れる池を作ればなおいろいろな生き物たちがやってきます。



の管理は、自然のままにするのが基本です。石や枯れ木を積んだり土を耕して、環境を多様化し、隙間をたくさん作ることです。待つことにより、日を迫って小さな生き物が増加し、それとともに野鳥も帰ってきます。

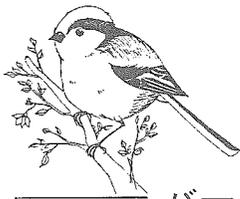
(d) その他 いろいろ工夫しても、野鳥が来ないということもあります。大きな原因が2つあります。一つはネコです。対策としては水場はやや高い所に、そばにネコの隠れ場所をなくす。庭の周囲をふさぎ、ネコの姿を見つけたら徹底的に追い払うことです。もう一つは建物の外壁が明るい色の場合です。色を変えられるなら、黒っぽい色に塗り変えてください。無理なら、常緑の木やツタの類を使って、外壁を隠してください。

いかがでしたか。ただ一番大切なのは、やさしい気持ちでしょう。何かお気づきの点、アイデアなどありましたら、ぜひおたよりお待ちしております。

参考として“窓をあけたらキミがいる”

(財)日本野鳥の会(¥980)をよろしく。





SAVE THE BIRDS

バードソン 1987

バードソンって

イギリスで30数年前から始められた募金キャンペーンのひとつです。

1チーム4人の各チームが、24時間で何種類の野鳥を確認できるかを競います。そして、ただ種類数を競うだけではなく、あらかじめ多くの人にスポンサーになってもらい、1種類につきいくらかという形で募金の約束をしていただきます。つまり、1種でも多くの野鳥を確認すれば、それだけ多くの募金を集める事ができるわけです。

募金に応じる側でも、最後まで自分がいくら払う事になるのかわからないといとんでもない、いや、ゲーム性豊かなイベントなのです。

日本野鳥の会では、昨年9月6日午後9時から24時間、全国15チームの参加を得て初めて実施しました。

そして今年5月30日(土)午後5時から24時間、第2回のバードソンが行われるのです。

集めたお金は

集められた募金は、『SAVE THE BIRDS』キャンペーンの最初の目標であるツルのサンクチュアリ設置に使われます。

昨年の第1回バードソンでは、イベント開催にかかわる諸経費などを差引いて、900万円近くがサンクチュアリ設置にふりあてられ、事業の要となるネイチャーセンター用地の買受けが実現できました。

今年の第2回バードソンでは、募金目標額2,000万円で、ネイチャーセンター建設資金にあてられます。

バードソンによって、『SAVE THE BIRDS』キャンペーンは確実な歩みを刻んでいます。

バードソンって、募金を取られて「バード損」？ いえいえ、「バード村」づくりのための「バード尊」運動なのです。

埼玉県支部公式エントリーチーム

埼玉県支部では、今回公式エントリーチームが参加します。

天下のNTTがメインスポンサーとなって「埼玉NTTチーム」。メンバーとしては、中島康夫(キャプテン)、福井恒人、藤原寛治、海老原美夫の4人が予定されています。埼玉の旧人類チームと自称しながらも、何とかがんばんべえとはりきっております。ご期待ください。

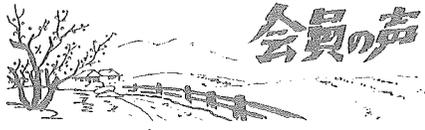
あなたもスポンサーに

たくさんの人に参加していただいて初めて成り立つイベントです。ぜひあなたもスポンサーになって、ツルのサンクチュアリ実現に力をお貸しください。

同封した3枚複写式の募金申込書の埼玉NTTチームの欄と、1種いくらの募金をいただけるかに○印をつけ、予想種類数とかお名前、ご住所などを書きこんで、一番上の1枚(水色)はご本人の控えとして手もとに置き、あとの2枚を本部事務局バードソン係に郵送していただくか、探鳥会の時などにリーダーにお預けください。ゲーム終了後に速報をお送りし、送金をお願いします。

もちろん埼玉NTTチーム以外のチームも応援していただいても良いのですが、できれば埼玉NTTチームに、なるべくたくさん……。

よろしくお願ひします。



||||||| 喜怒哀楽の強行探鳥 |||

香川 裕之 (足立区)

昨年12月の『しらこぼと』の特集に載っていた大洗海岸の案内文を見て、僕は感激でいっぱいだった。昨年の忘れもしない4月2日、僕は潤沼駅から平磯まで、よせばいいのに、20 km 近くも徒歩で探鳥をしたのだから。

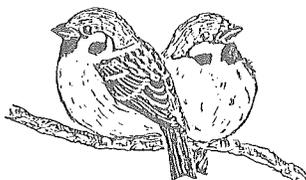
15種ほどの初種を期待していたのに、潤沼ではカワアイサ1種のみ。それでも、カンムリカイツブリやカシラダカの夏羽が見れたのでよかったが…。

恐怖は大洗から始まった。ヒメウ、海ガモ等をさがしたのにシノリガモが出ただけ。平磯までの間、群れ飛ぶウミウの中にひたすらヒメウを追った。しかし…

平磯についた時、僕の足は棒を越えて、コンクリートになっていた。しかも、電車はこない。厄日とはこのような日なのだろうかと思われていく陽を見ながら考えた。青春なんてこんなものだろうか…。

今年の1月22日、僕は再びここに来た。今度は親戚の家の車を使ったのんびり探鳥である。しかし、世のいやなところはこういう時に現れるもので、努力もしないのに、初種がピンバツ出た。ウミスズメ、カンムリウミスズメ、ヒメウ、海ガモ3種、ミツユビカモメ。大洗海岸ではさらに変なカモメを見た。図鑑と野鳥の会の人との意見から、なんと、アカアシミツユビカモメ若鳥と判定されたのだ。しかも、2月14日、銚子でも本種が発見されたのだ。涙なみだの大洪水である。

厄日と吉日との差がこんなにまで大きい事を知った喜怒哀楽の探鳥だった。



カット 渡辺 敦

||||||| ささやかな探鳥会 |||

山本美代子 (鴻巣市)

3月3日朝。6時20分。今朝の天気は？とカーテンを開くと、目の前の餌台に見馴れない鳥が1羽。「アナタ見て、アレ何か知ら？」

急いで室内の電灯を消しガラス越しに覗くと、ヒマワリの実をボリボリ。プイと皮を吐き出す。食い散らかすと言った食事の仕方。太い嘴、茶色い頭。尾の先きが白い。カワラヒワを大きくした感じの鳥。野鳥小図鑑と山溪カラー名鑑の日本の野鳥を取り出してみる。「これこれ!! シメだ」

早くしないと遅れるぞの声に「又、明日も来てね」とカーテンを閉じた。本に、落花生を餌台に置いてシメをよんでいる人も居ると記されていた。毎日来ているシジュウカラのために置いたクルミ、ピーナツ、ヒマワリを見つけて来たのでしょう。ヒマワリとピーナツとどちらが好きか明日は少し離して置いてみよう。我家でささやかな探鳥会しています。

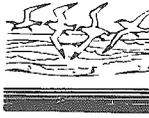
||||||| まっかなほっぺ |||

鈴木加代子

堂平山の山頂駐車場のまわりの木々にウソがいました。10羽以上いたかしら。まっかなほっぺでかわいかったこと！「あんまり寒いからほっぺが赤くなっちゃったの」と思わず話しかけてしまいました。ちっとも逃げないんですよ。なにやら、桜の新芽をたべていたようです。ホントにかわいいですねえ、ウソは。

大 募 集 !!

『しらこぼと』は、会員みんなで作る支部報です。カット、原稿などしどしどお寄せください。カットは書きやすい大きさと結構です。印刷所で縮小します。原稿は、原稿用紙だと助かりますが、葉書や手紙でもよいのです。あて先は事務局まで。 (編集部)



野鳥情報

- ウグイス(初鳴き) ◇3月1日、鴻巣市大間の雑木林でさえずる(榎本みえ子)。◇3月1日、本庄市の阪東大橋付近で(北川慎一)。◇3月2日、浦和市の常盤公園で(藤野富代)。◇3月4日、浦和市の領家一丁目(金井繁雄)。◇3月9日、浦和市本太3丁目(藤野克行)。◇3月9日、寄居町寄居の自宅近く(吉野由紀夫)。◇3月9日、熊谷市石原(今井明巨)。◇3月11日、秩父市(今井明巨)。
- ツバメ(初認) ◇3月13日、越谷市小曾川で1羽(細川久恵)。◇3月14日、秩父市上宮地町で1羽(西田賢治)。◇3月15日、浦和市三室で1羽(支部探鳥会)。◇3月18日、川越市の新河岸駅西口で1羽(榎本秀和)。◇3月21日、富士見市の柳瀬川で2羽(藤原寛治)。◇3月22日、大宮市中川の芝川で8羽(浅沼源太郎)。◇3月25日、浦和市岸町で2羽(海老原教子)。◇3月25日、本庄市の阪東大橋下流で1羽(北川慎一)。◇3月25日、浦和市宮本で4羽(門倉清美)。◇3月26日、熊谷駅前で1羽(海老原美夫)。◇3月26日、鴻巣駅前で1羽(海老原美夫)。◇3月28日、浦和市の太田窪で2羽(近藤 崇)。
- イワツバメ(初認) ◇3月8日、飯能市の入間川で4羽(千葉能亢)。◇3月15日、秩父市東町で2羽(西田賢治)。◇3月17日、熊谷市石原で5羽(今井明巨)。
- カワウ ◇3月15日、越谷市の宮内庁鴨場上空で30羽以上(木村義人)。
- マガン ◇3月26日、本庄市の阪東大橋下流の利根川で若鳥2羽。11月10日に確認以来まだ越冬している(北川慎一)。
- オシドリ ◇3月15日、長瀨町の荒川で31羽(西田賢治)。
- アメリカヒドリ ◇2月8日、本庄市の阪東大橋下流の利根川で♂1羽(北川慎一)。
- カワアイサ ◇3月27日、本庄市の阪東大橋下流の利根川で♂22羽♀27羽(北川慎一)。
- オオタカ ◇3月5日、川越市砂新田の雑木林で倒木の上から舞い上がる。飛び立った跡にはキジバトの羽毛が散乱していた(石井清澄)。
- ノスリ ◇3月15日、本庄市の阪東大橋下流の利根川上空で1羽(北川慎一)。◇3月24日、川本町の明戸で1羽(山口輝雄)。
- ハヤブサ ◇2月25日、川越市渋井の新河岸川放水路の水門に1羽(石井清澄)。
- チゴハヤブサ ◇3月27日、本庄市の阪東大橋付近でツグミ大の鳥をむしって食べていた(北川慎一)。
- チョウゲンボウ ◇3月4日、草加市の毛長川で♂1羽(香川裕之)。
- クイナ ◇2月22日、桶川市川田谷で1羽(今井明巨)。
- イカルチドリ ◇2月27日、浦和市大谷口の遊水池で1羽(近藤 崇)。◇3月13日、寄居町の玉淀河原で♂が羽根を広げて、ディスプレイした後、交尾する。一瞬の間のことだった(北川慎一)。
- コアジサシ ◇3月25日、本庄市の阪東大橋下流の利根川で2羽(北川慎一)。
- シラコバト ◇3月6日、加須市下二俣の農家の裏の林で20羽(岡安行雄)。
- アリスイ ◇2月15日、午後2時30分、北本市石戸宿で、アソ原の柳の横枝に1羽(吉田 博、二三子他3名)。
- アオゲラ ◇3月13日、鶴ヶ島町の高倉の林で3羽(宮内武昭)。
- アカゲラ ◇3月4日、入間郡越生町古池の雑木林で1羽(榎本秀和)。◇3月4日、三芳町の多福寺で1羽(木村義人)。
- モズ ◇3月5日、北本市石戸宿で♂♀が求愛行動をする(榎本秀和)。◇3月21日、志木市柏町の自宅近くのアンテナ上で、♂がヒバリとカナリヤをミックスしたような美声でさえずりながら♀にすりよるように求愛行動をしていた(藤原寛治)。
- アカハラ ◇3月5日、北本市石戸宿で1羽(榎本秀和)。
- ツグミ ◇3月3日、草加市の毛長川付近で1羽が、複雑な声でぐぜりをしていく(香川裕之)。
- ヒガラ ◇3月26日、大宮市日進町でさえず

る(森本國夫)。
ミヤマホオジロ ◇川越市砂新田の雑木林で
♂♀各1羽(石井清澄)。
アオジ ◇4月5日、大宮市日進町でさえず
る(森本國夫)。
アトリ ◇3月5日、北本市石戸宿で2羽、
(榎本秀和)。
ウソ ◇3月13日、秩父市の美の山公園で♂

【5月の見どころ】

5月は待望の夏鳥がやってきます。
オオルリ、キビタキ、サンコウチョウなど、
その名前を聞いただけで胸のときめきをおぼ
える方も多いと思います。
オオルリやキビタキ、ムシクイ類は、渡り
途中の個体に平地でも会える機会はありますが、
秩父や軽井沢、奥日光まで足をのばすこ
とをお勧めします。思わずハッと息をのむよ
うな出会いがあるでしょう。
「森の妖精」サンコウチョウには、そんな
に遠出をしなくても会うことができます。た
だ、動きがはやいのと昼間でも薄暗い林にい

【私はだれでしょう】

2月初旬から、浦和市中尾の住宅の玄関脇
にかけられたツバメの巣を毎晩ねぐらにして、
暗くなると帰ってくるというおかしな鳥です。
ジョウビタキ♀とも思われますが、背中の
白斑がない事など、いくつかそうともいえない
特徴もあり、ヒタキ類には違いないのです
が、はたして何という鳥なのか一部の鳥キチ
達的话题を集めています。

10羽♀10羽(北川慎一)。◇3月1日、午
前10時、所沢市の狭山湖畔で♂5羽。桜の
木の芽をおいしそうに食べていた(大橋義
男)。
イカル ◇3月8日、午前7時、大宮市西遊
馬の西遊馬団地でさえずる。美しいさえず
りで目覚める(大橋義男)。◇3月15日、
鶴ヶ島町の高倉の林でさえずる(宮内武昭)。

るので、なかなかその美しい姿を見せてくれ
ませんが、「ギー」という地鳴きをたよりに
捜せば、あんがい見つけやすいことがあります。
さえずりよりも「ギ」とか「ギー」とい
う地鳴きのほうが多いので、この声を覚えて
おくと役にたちます。これらは、レコードや
テープでも覚えられます。いることがわかっ
たら、あとは粘りです。よく見られる場所と
しては、北本市の石戸宿や鶴ヶ島町の高倉の
林などがあげられます。

また、カッコウやホトトギスの仲間の渡り
も最盛期になり、特にカッコウはその優美な
姿を見せてくれる機会が多くなります。カッ
コウを見るコツはとにかく木の梢をさがすこ
とです。



ジョウビタキ♀と思われるヒタキ
昭和62年3月26日 海老原美夫撮影

〔表紙の写真〕

ミソサザイ(ミソサザイ科)

昨年6月、軽井沢で出会ったミソサザイは
2mまで近寄っても逃げない。200mmでねら
ってみたが、その時の私の動作も全く無視し
て軽快に鳴いていた。1分もするとさすがに
羽をひろげキチキチとこちらをにらんだ。と

ころで、図鑑を調べると学名は *Troglodytes troglodytes* とでている。“岩の割れ
目に住むもの”という意味らしい。和名のミ
ソサザイの由来は一体何なのだろう。

(写真と文・正田 茂)



寄居町・鐘撞堂山探鳥会

期日：5月3日（祝）
 集合：午前9時 寄居駅北口
 交通：東武東上線川越7：38発→森林公園乗
 継ぎ→寄居8：45着／ 秩父鉄道熊谷
 8：30発→寄居8：58着
 解散：午後2時ごろ
 担当：萩原正二
 見どころ：華麗な夏鳥の到着（Ⅰ）。新緑の
 山道にわきおこる歌声、あれはオオル
 リ、キビタキ、旅すがらの夏鳥達。

栃木県・箒川探鳥会

期日：5月9日（土）
 集合：午前6時45分 大宮駅中央改札口前
 交通：東北本線大宮始発6：59→野崎9：10
 着（片道1,800円）／ 新特急なすの
 1号大宮7：17発→矢板8：42着、乗
 継ぎ8：50発→野崎8：55着も可
 解散：現地にて午後2時ごろ
 担当：中島康夫、楠見邦博、草間和子
 見どころ：子育てに大忙しのチョウゲンボウ
 団地。岩穴に数つがいが営巢中。驚か
 さないよう静かに訪問しましょう。
 注意：集合時刻が変更になりました。

本庄市・阪東大橋探鳥会

期日：5月10日（日） BW一斉探鳥会
 集合：午前9時 本庄駅北口
 交通：高崎線大宮7：44発→熊谷8：25発→

5月と言えばバードウィーク。この鳥見人の
 の祭典には探鳥会の4ヶ所同時開催。もちろ
 んほかの探鳥会もますます充実。ズラリ揃っ
 た夏鳥やシギ・チドリ達がお待ちしています。

持ち物は、筆記用具、雨具、昼食、ゴミ袋、
 （もしあれば）双眼鏡などです。

参加費は、一般＝100円、会員及び中学生
 以下＝50円。予約申し込みは必要ありません。
 小雨決行です。

夢中になり過ぎて、鳥を驚かしたり、植物
 を荒らしたりしないように。いつもフィール
 ドマナーをお忘れなく。

庄8：49着

解散：午後1時ごろ

担当：萩原正二、北川慎一

見どころ：河原にシギ・チ、そして（Ⅰ）。

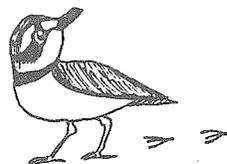
水際チョコチョコ、チドリさん。ひた
 すら食事のシギ氏。見下ろす姿は誰？

熊谷市・大麻生探鳥会

期日：5月10日（日） BW一斉探鳥会
 集合：午前9時30分 秩父鉄道大麻生駅前
 交通：秩父鉄道熊谷9：04発→大麻生9：12
 着／ 秩父鉄道寄居9：01発→大麻生
 9：19着
 解散：午後1時ごろ
 担当：鈴木忠雄、今井明巨
 見どころ：河原にシギ・チ、そして（Ⅱ）。
 明るいう夏羽のシギやチドリがたむろし
 ています。あ、その上を飛ぶのは…。

蓮田市・黒浜沼探鳥会

期日：5月10日（日） BW一斉探鳥会
 集合：午前8時45分 蓮田駅東口
 交通：東北本線大宮8：12発→蓮田8：21着
 解散：午後1時ごろ
 担当：中島康夫、松井昭吾
 見どころ：リーダーはサギはしません。サギ



のコロニーは必らずお
 見せします。うそでは
 ありません。ついでに、
 鮮やかな夏羽のムナグ
 ロもどうぞ。

浦和市・秋ヶ瀬探鳥会

期日：5月10日(日) BW一斉探鳥会
集合：午前9時 浦和駅西口バスロータリー
解散：午後1時ごろ
担当：福井恒人、海老原美夫
見どころ：ムナグロとは言っても……腹黒い鳥ではありません。内気な奴です。それにナウイメイクのコムクドリでも。

浦和市・三室地区定例探鳥会

期日：5月17日(日)
集合：午前8時15分 北浦和駅東口。または午前9時 浦和市立郷土博物館前
解散：午後1時ごろ
共催：浦和市立郷土博物館(参加費無料)
担当：楠見邦博、福井恒人、渡辺周司
見どころ：いよいよ繁殖期も本番 林も畑も河原も鳥達の歌であふれています。

大滝村・三峯神社周辺探鳥会

期日：5月17日(日)
集合：午前10時30分 秩父鉄道三峯口駅前
交通：秩父鉄道熊谷9:20発(急行)→寄居9:40発→三峯口10:24着
解散：午後1時ごろ
共催：秩父愛鳥会
担当：今井明巨
見どころ：森林の夏鳥ならおまかせできる場所なのです。キビタキ、ツツドリ、センドタイムシクイ、まだまだほかにも。

軽井沢・夜行探鳥会

期日：5月23日(土)～24日(日)
集合：23日午後10時30分 上野駅一階中央広場ジャイアントパンダ像前(途中駅からの乗車も可)
交通：信越本線急行妙高号上野23:58発→大宮0:26発→上尾0:36発→熊谷1:05発→軽井沢2:58着(上野ー軽井沢間片道2,400円、急行料金片道900円。他にタクシー代が少々)
食事：朝食及び昼食持参
解散：現地にて24日午後2時ごろ
担当：中島康夫、楠見邦博、福井恒人
見どころ：目一杯夏鳥したい方、ぜひおいで



下さい。林にクロツグミやキビタキ、溪流にオオルリ、う～んどうかなアカショウビン。トケン類も出揃います。長距離歩きますので足元は充分に。

『しらこぼと』袋づめの会

とき：5月30日(土) 午後1時～4時ごろ
会場：浦和市立コミュニティーセンター2階第2和室(浦和駅西口から県庁通り西進、中山道左折約600m右側)
☆折り目のない『しらこぼと』をお土産に。(今月の写真クラブ定例会はお休みします)(カット：鈴木加代子、鈴木高士)

いま埼玉のキツツキは!

1985年夏よりはじめた県内野鳥分布調査は5回目を迎えましたが、今回はアオゲラ、アカゲラ、コゲラを注目種とし埼玉におけるキツツキの動態を中心に調査します。

1980年代に入り本来は森林性の鳥であるコゲラ、アオゲラの東京平野部への進出が目立っております(川内1985)。キツツキ類の新たな都市鳥化の兆とも考えられます。県内においてもそれを裏付ける断片的な記録はありますが組織的な調査はなされておられません。

— 1987年夏鳥調査 —

調査期間は5月10日から7月10日まで。あなたのフィールドで見られた鳥の名とおおよその数を期間後まとめて7月号に同封のはがきを書いて送付下さい。メッシュ地形図と調査票による調査法もあります。特に難しいものではありませんので、御希望の方は調査予定地、住所、氏名を研究部までお知らせ下さい。

変りゆく埼玉の自然を鳥相を通して明らかにするのが本調査の目的です。御協力よろしくお願い致します。(研究部 小荷田行男)

行事報告

3月1日(日) 白岡町 八幡様周辺

人 26人 天気 晴 鳥 カイツブリ
コサギ オナガガモ イカルチドリ ハマシギ
イソシギ ユリカモメ セグロカモメ
キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセ
キレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ シロハ
ラ ツグミ ウグイス シジュウカラ メジ
ロ ホオジロ カワラヒワ シメ スズメ
ムクドリ カケス オナガ ハシボソガラス
ハシボソガラス(29種)カケスの群れや、シ
ロハラも見られた。でも……、ハマシギの舞
いがみごと！ 元荒川に100羽近い群れがいた
のであった。

3月8日(日) 熊谷市 大麻生

人 16人 天気 晴 鳥 カイツブリ
コサギ コハクチョウ コガモ オオタカ
コジュケイ イカルチドリ イソシギ キジ
バト カワセミ ヒバリ ハクセキレイ セ
グロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ
ジョウビタキ アカハラ ツグミ シジュウ
カラ ホオジロ カシラダカ アオジ カワ
ラヒワ シメ スズメ ムクドリ オナガ
ハシボソガラス ハシボソガラス(30種)大
雪で大麻生は白い世界。でもカワセミ君は元
気に飛んでコバルトブルーが一段と美しかっ
た。コハクチョウは7羽と少なかったが暖冬
のためだろう。

3月14日(土) 浦和市 さぎ山記念公園

人 15人 天気 曇 鳥 ゴイサギ コ
サギ カルガモ オナガガモ ノスリ コジ
ュケイ キジ タゲリ シラコバト キジバ
ト ヒバリ ハクセキレイ セグロセキレイ
ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス シジュ
ウカラ ホオジロ カシラダカ アオジ オ
オジュリン カワラヒワ ジメ スズメ ム
クドリ カケス オナガ ハシボソガラス

ハシボソガラス(30種)あいにくのお天気で
少し寒かったが、梅、沈丁花が香り、ウグイ
スはさえず、春春春。シメやシラコバトな
どを楽しんだ。

3月15日(日) 寄居町 鉢形城跡と荒川

人 19人 天気 晴 鳥 カイツブリ
コサギ トビ ノスリ コジュケイ イカル
チドリ イソシギ キジバト ヒバリ イワ
ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロ
セキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョ
ウビタキ ツグミ ウグイス シジュウカラ
メジロ ホオジロ カシラダカ アオジ ア
トリ シメ スズメ ムクドリ カケス ハ
シボソガラス ハシボソガラス(31種)アト
リはほんの一部の人にしか見られなかったが、
帰ってきたイワツバメに春の挨拶をした。カ
ワセミ君には予約をしてあったのに現われず、
あとでいつもの場所に行ってみたら、後ろ向
きで、すねていた。約束を破った理由はわか
らない。

3月21日(土、祝) 鳩山町 物見山

人 28人 天気 曇 鳥 コサギ マガ
モ カルガモ コガモ コジュケイ キジ
キジバト コゲラ ハクセキレイ セグロセ
キレイ ヒヨドリ モズ ツグミ ウグイス
エナガ ヒガラ シジュウカラ メジロ ホ
オジロ カシラダカ アオジ カワラヒワ
シメ スズメ ムクドリ カケス ハシボソ
ガラス ハシボソガラス(28種)寒い1日。
鳥が居ないなとぼやきながら歩いていたら、
下りの山道で混群に出会って、ちゃんと数が
そろった。お目当てのオオタカは……たまに
は休むこともあるさ。

鳩山町中央公民館の田島さんの話し「1年
間5回の探鳥会指導ありがとうございました。
地元の私達も知らなかった鳩山町の自然を知
ることができました。」

3月22日(日) 長野県 軽井沢

人 43人 天気 晴 鳥 トビ オオタ
カ ノスリ キジ キジバト アオゲラ ア
カゲラ コゲラ イワツバメ キセキレイ

セグロセキレイ ヒヨドリ モズ カワガラス
ス ミソサザイ ジョウビタキ ツグミ キ
クイタダキ エナガ コガラ ヒガラ シジ
ュウカラ ゴジュウカラ ホオジロ カシラ
ダカ アトリ カワラヒワ オオマシコ ベ
ニマシコ ウソ イカル シメ スズメ ム
クドリ カケス オナガ ハシボソガラス
ハシブトガラス(38種)期待していたハギマ
シコは、暖冬のため旅立ちが早かったよう
で見られなかった。でも、全員大興奮。野鳥の
森でオオマシコ出現! 昨年のアカショウビ
ン以来の大感激。いつ行っても何かある、す
ばらしい軽井沢。

3月29日(日) 坂戸市 高麗川

人 43人 天気 曇 鳥 カイツブリ

コサギ カルガモ オオタカ コジュケイ
イカルチドリ クサシギ イソシギ キジバ
ト ヒメアマツバメ アマツバメ ヤマセミ
カワセミ ヒバリ ツバメ イワツバメ キ
セキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ
ヒヨドリ モズ ジョウビタキ ツグミ ウ
グイス シジュウカラ ホオジロ カシラダ
カ アオジ カワラヒワ イカル シメ ス
ズメ ムクドリ カケス オナガ ハシボソ
ガラス ハシブトガラス(37種)さすが高麗
川。カワセミは当り前。ヤマセミも全員ふん
だんに見られ、河原での食事中にも、皆の前
をデモ飛行するなどサービス満点であった。
鳥の世界は渡りの季節で、旅立ち間近なツグ
ミの数10羽の群れや、旅の途中のアマツバメ
類も見られた。

参加者の声

しらさぎ記念公園探鳥会に寄せて

松井昭吾(大宮市)

日本野鳥の会埼玉県支部の皆様へ

私は皆様の愛して下さっている「ノスリの里」の例のノスリでございます。いつも皆様には入れかわり立ちかわり、私をお訪ねいただき心から感謝いたしております。私は皆様も御存じのようにすばらしい千里眼に恵まれていますので、皆様のお持ちのニコンとかツァイスとかの双眼鏡や、プロミナーとかフィールドスコープなどで私の方を御覧になる前から、じっくりと皆様を観察して、皆様の個体、失礼、個人識別を楽しませていただいているのでございます。私のコンピュータには、出現日時、個体(個人)の特徴などがすべて入っているので、誰々か、どこまで接近したらどう対処するか、などというプログラムまでできているのでございます。

さて、3月14日には特に皆様が大挙して私に会いにきて下さるとのことで、今春のお別れにもなるかと思い、早朝よりおめかしをしてお待ち申し上げました。雲行きの怪しい中を予定より1時間も早く、例のハクトウワシのような頭をした、安全係数の高い方が、下

見とやらに出現したので、私はまだおめかしの途中ではありましたが、お別れの心をこめて、あの枯れ木の梢にたつて、御挨拶をお送りしましたが、御覧いただけましたでしょうか?もちろん、9時半からお集まりになったご熱心な皆様にも、今春最後の私をお見せしたかったのは山々でございましたが、心ならずも急に危険が迫って参りましたので、避難させていただきました。それで、ほとんどの方は御覧になれなかったようでございましたが、私は最後まで心ゆくまで観察させていただきました。千里眼とはまことに便利なものでございまして、野鳥の会の皆様に、この眼の秘密をお教えしたい気持ちは重々ございますが、やはりそれはルール違反となりますのでご容赦下さい。

日一日と暖かくなり、皆様にとっては快適かも知れませんが、私にとっては少々居心地も悪くなって参りますので、例年のことではございますが、春、夏を過ごすのに快適な、私の「夏の山」の方へ出発させていただきました。支部の皆様、また12月頃には必ず戻って参りたく思いますので、私の住み心地の良い「ノスリの里」を守ってお待ち下さい。

ノスリより心をこめて

連絡帳

第3回総会のお知らせ

第3回総会を次の通り開催する予定です。

日時・昭和62年6月7日(日)午後1時受付
開始(午後5時から懇親会)

場所・埼玉県熊谷福祉センター(熊谷市箱田
5-6-2、☎0485-21-5421)

議題・昭和61年度事業報告および決算について、昭和62年度事業計画および予算について、役員を選出について、その他。
くわしくは6月号でお知らせします。

関東ブロック会議

3月14日(土)都内渋谷区に於て、第4回関東ブロック会議が開かれ、関東地区8支部の代表者14人と本部から2人の合計16人が参加、埼玉県支部からは海老原美夫副支部長兼事務局長が出席、支部運営のあれこれについて、ホットな本音が話し合われました。

もう1度、校正を手伝ってください

3月号でもお願いしましたが、その時に掲載した森本幹事の顔写真が良くなかったとか。いえ、ただまぶしくて顔をしかめただけで、本当は心やさしい男なのです。誤解をいといてどうか校正を手伝ってください。

月に1度、20日すぎごろの夜、大宮市桜木町4丁目26番8号の望月印刷株式会社での作業です。毎回でなくても、時々でもたすかります。専門知識がなくてもできます。森本宅(☎

)または事務局まで声をかけてください。

ご寄付ありがとうございます

次の方々からご寄付をいただきました。しばらくの間掲載できず申しわけありませんで

した。

秋間利夫2,000円、五十嵐輝男2,000円、石川順子2,000円、岡安征也500円、笠井実5,000円、北川慎一1,500円、佐藤善幸1,000円、田中智恵子500円、松井昭吾10,000円、山本美代子1,635円。 ※50音順、敬称略。

会員数は

4月20日現在682人です。

活動報告

- 3月3日 荒川メッセ寄居21に野鳥写真パネル展示について、田村照治副支部長打合せ。
- 3月14日 研究部会議。
- 3月15日 編集部会議、事務局問題検討委員会。
- 3月17日 狭山市立中央児童館新年度観察会打合せに来局。
- 3月25日 県主催バード展などにつき、今井昌彦支部長打合せ。
- 3月29日 浦和市中尾地区のツバメの巣をめぐらとするヒタキについて、新聞社に情報提供。3月31日埼玉新聞、毎日新聞に掲載。
- 4月4日 夏鳥分布調査準備作業(研究部)。



先日、自分のフィールドの鳥相を発表する機会を得ました。ごく簡単な内容のものでしたが、それ以後は、日曜日は自分のフィールドを回っています。鳥種は少ないのですが、もっとよく知りたいと思う気持ちが強くなったのです。会員のみなさんも自分のフィールドの鳥相をまとめてみてはいかがでしょうか。『しらこぼと』もお手伝いしたいと思います。

(山部直喜)

題字『しらこぼと』：日本野鳥の会会長・山下静一

(イラスト風見出し・鷹尾正済)

『しらこぼと』 1987年5月号(通巻第36号) 頒価100円(会費に含まれます)
発行人 今井昌彦 発行所 日本野鳥の会埼玉県支部

発行所事務局 〒336 埼玉県浦和市岸町4丁目26番8号 プリムローズ岸町107号
電話 0488(32)4062

郵便振替 東京9-121130 銀行振込口座 埼玉銀行浦和支店普通預金316990
印刷所 望月印刷株式会社

(無断転載を禁じます)